

## 2023年夏季ボーナス支給動向

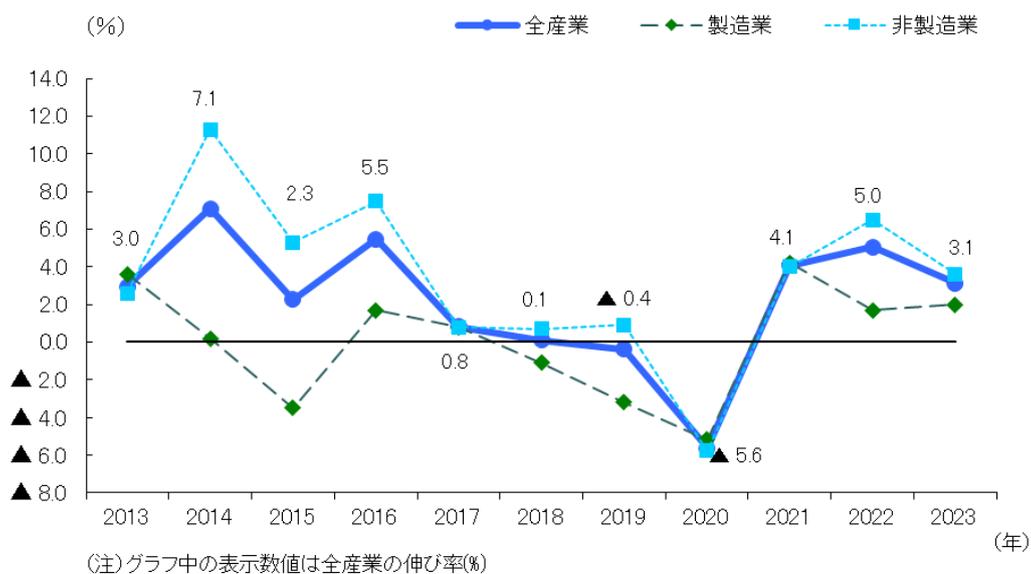
### 支給額3.1%増で3年連続のプラス

県内民間企業の2023年夏季ボーナス支給に関するアンケート調査（全産業・企業単純平均、有効回答152社、平均年齢44.8歳）によれば、平均ボーナス支給額は351,400円で、前年同期の340,800円に比べ支給額+10,600円、増減率+3.1%（前年同調査増減率+5.0%）と昨夏に比べて伸びは鈍化したものの、3年連続のプラスとなった。

ボーナス支給額の増減を企業割合（社数構成比）で見ると（次頁）、支給額が前年夏季より増加した企業割合は55.3%と前年同調査の65.4%から10.1ポイント低下した。逆に減少した企業割合は24.3%と同21.2%から3.1ポイント上昇している。幅広い業種でボーナス支給を増加する動きが続くものの、一部の企業では賃上げを優先し賞与を減少させたとみられる。

※今回調査より調査対象先数を拡大。前回以前との比較には注意が必要。

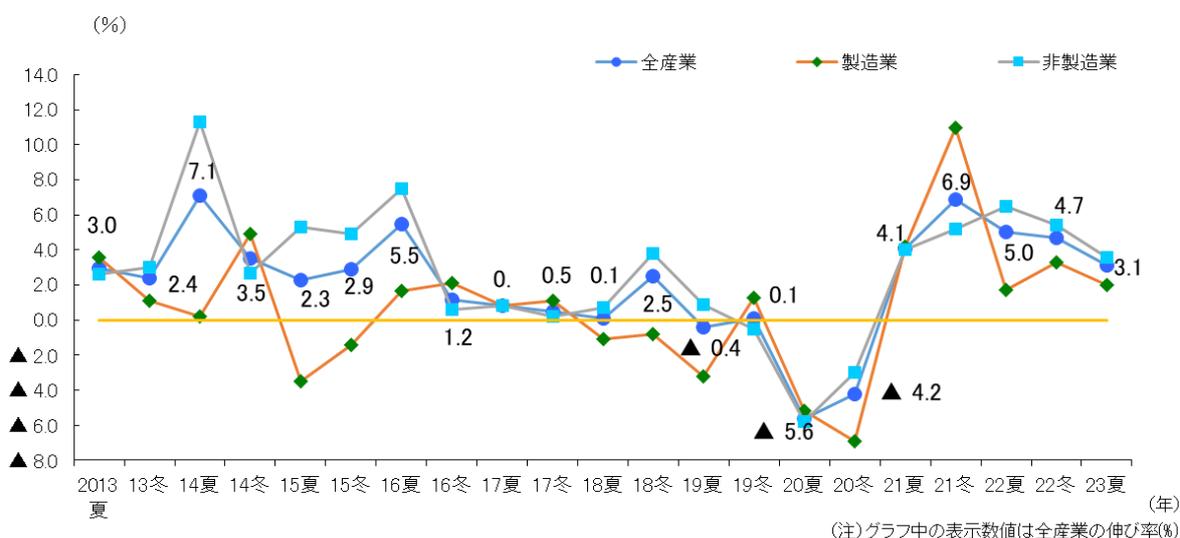
夏季ボーナス伸び率の推移(前年同期比)



## 支給額増減(前年同期比)における企業割合の推移

	増 加	横 ば い	減 少	「増加」－ 「減少」
2020年夏季	30.4	19.6	50.0	▲ 19.6
2021年夏季	56.9	20.2	22.9	34.0
2022年夏季	65.4	13.5	21.2	44.2
2023年夏季	55.3	20.4	24.3	31.0

### < 参 考 > 【夏季・冬季合算】ボーナス伸び率の推移(前年同期比)



## 製造業・非製造業別支給動向

製造業（有効回答41社、平均年齢43.4歳）の平均支給額は373,500円で、前年同期比+7,400円（前年同調査+6,300円）、増減率+2.0%（同+1.7%）と3年連続のプラスとなり、額・率ともに前年を上回った。また支給額増減の企業割合では、増加先61.0%（同71.0%）と前年から10.0ポイント低下し、減少先29.3%（同22.6%）は6.7ポイント上昇したが、増加先が減少先を上回る動きが続いている。業種別では、食料品製造業や一般機械製造業などが増加した。

非製造業（有効回答111社、平均年齢45.3歳）の平均支給額は343,300円で、前年同期比+11,900円（前年同調査+24,700円）、増減率+3.6%（同+6.5%）と前年より伸びは鈍化したものの、3年連続でプラスとなった。支給額増減の企業割合は、増加先53.2%（同63.0%）が減少先22.5%（同20.5%）を上回った。業種別では、運輸業、不動産業などで増加企業が多い反面、建設業、サービス業では、明暗が分かれるかたちとなった。

業種別の支給額動向(企業平均)

業種	回答社数	支給額(千円, %)				構成比(%)		
		本年	前年	前年差	前年比	増加	横ばい	減少
製造業	41	373.5	366.1	7.4	2.0	61.0	9.7	29.3
非製造業	111	343.3	331.4	11.9	3.6	53.2	24.3	22.5
全産業	152	351.4	340.8	10.6	3.1	55.3	20.4	24.3

<参考>昨冬の業種別支給額動向(企業平均)

業種	回答社数	支給額(千円、前年比は%)				構成比(%)		
		2022冬	2021冬	前年差	前年比	増加	横ばい	減少
製造業	34	426.4	412.9	13.5	3.3	70.6	11.8	17.6
非製造業	76	436.6	414.3	22.3	5.4	60.5	21.1	18.4
全産業	110	433.4	413.9	19.5	4.7	63.6	18.2	18.2

従業員規模別支給動向

従業員規模別に見ると、1～29人、30～99人の階層において支給額が前年を上回っている。中でも、1～29人の規模先は支給額増減率+7.6%と、5%を超える高い水準で増加した。100人以上の規模先は、一部企業の大幅な減額を反映するかたちで▲1.1%(前年差▲5,400円)とマイナスとなった。

支給額増減の企業割合(構成比)をみると、全ての階層で増加先が減少先を上回った。伸び率がマイナスとなった100人以上の規模先も、増加割合では1～29人の規模先を上回っている。総じてみると支給額の増加先は、従業員規模別の大小にかかわらず広範囲に及んでいる様子が見える。

従業員規模別の支給額動向(企業平均)

従業員規模	回答社数	支給額(千円, %)				構成比(%)		
		本年	前年	前年差	前年比	増加	横ばい	減少
1～29人	62	259.8	241.5	18.3	7.6	48.4	30.6	21.0
30～99人	48	347.3	332.5	14.8	4.5	64.6	18.7	16.7
100人以上	42	491.3	496.7	▲5.4	▲1.1	54.8	7.1	38.1
全規模	152	351.4	340.8	10.6	3.1	55.3	20.4	24.3

<参考>ボーナス支給(予定)時期

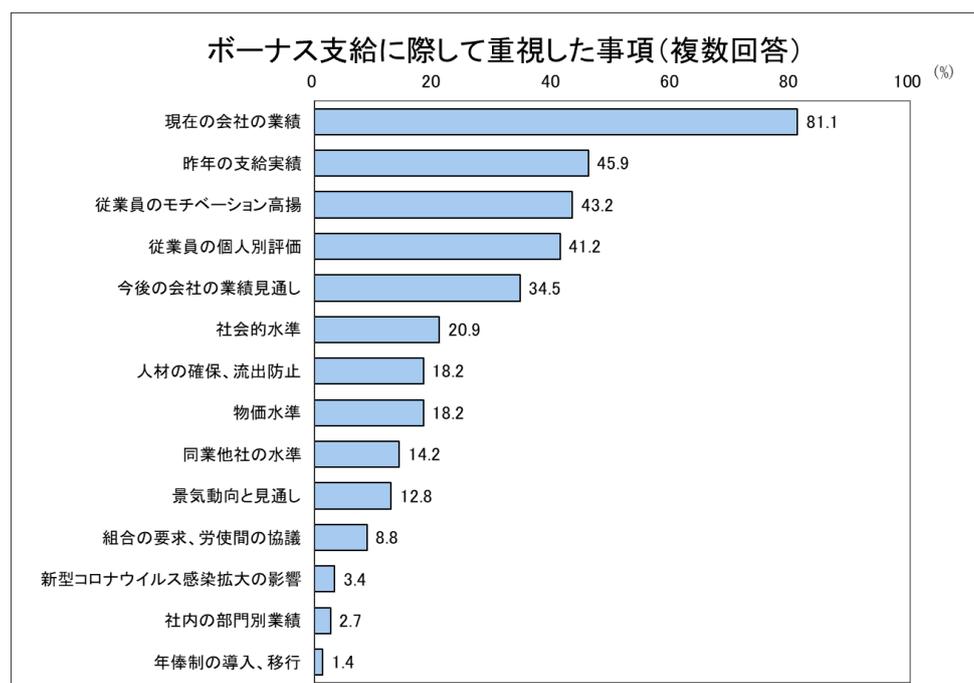
支給時期	5月	6月			7月			8月			9月	未定 不支給	合計
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
構成比(%)	2.0	5.9	8.5	15.8	11.8	22.4	9.2	11.8	4.6	0.7	2.0	5.3	100.0
		30.2			43.4			17.1					

## ボーナス支給における重視事項

ボーナス支給に際して重視した事項（回答社数152社のうち有効回答148社、回答数513、平均回答数3.5）を見ると、例年同様「現在の会社の業績」が81.1%（前年同調査83.0%）と最も高く、従来通り、いわゆる業績連動型の支給が広く浸透している。「昨年の支給実績」は45.9%（同50.0%）、「従業員の個人別評価」は41.2%（同49.0%）と引き続き上位4事項に入った。

3位の「従業員のモチベーション高揚」は43.2%（同31.0%）と、同項目の調査を開始した2004年以降で初めて上位4位事項に入った。また、「物価水準」と回答した企業も、18.2%（同5.0%）と大幅に増加し、2004年以降で最も高い水準となった。物価上昇を背景に、従業員に配慮する動きが強まったとみられる。

なお、「新型コロナウイルス感染拡大の影響」と回答した企業は3.4%で、2020年同調査18.6%→2021年9.2%→2022年4.0%→今回3.4%と年々減少している。



### — 調査要領 —

調査時期	2023年7月
調査方法	所定の調査票によるアンケート方式
調査対象	県内主要企業 406社
有効回答	152社

※今回調査より調査対象企業を、前回までの282社から406社に拡大。  
前回調査以前とは母数が異なるため、比較には注意が必要。